

安倍政権 介護対象の縮小ねらう

痛み伴う改革やめ、介護充実を 日本共産党

要支援1・2につつき
要介護1・2も
介護保険から外す

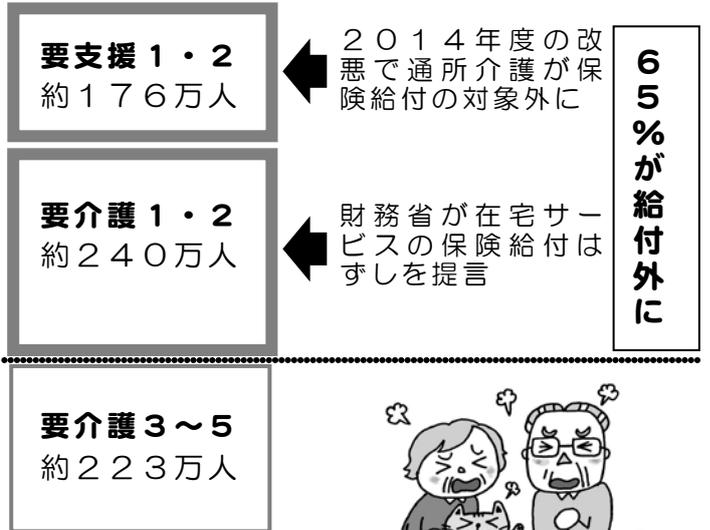
八幡市でも高齢化により介護保険のニーズが広がっています。ところが安倍自公政権は、2014年度から要支援1・2の在宅サービスを保険給付からはずしたのに続き、今度は要介護1・2の在宅サービスを保険給付からはずそうとしています。財務省の財政制度等審議会、内閣府の経済財政諮問会議が社会保障改革案として打ち出しています。

ヘルパー派遣などに影響

在宅で受けていたホームヘルパーなどの派遣が制限されたり、サービスそのものがなくなるケースも生まれています。

こうした制度改悪の対象者は、要支援1・2の176万人に加え、要介護1・2の240万人、合計416万人となり、

安倍政権がねらう介護保険の給付はずし



要支援・要介護と認定されている人の65%が介護保険給付からはずれてしまいます。

安倍政権は、国民に痛みを押しつける改悪をやめて介護の充実を図るべきです。日本共産党市議団は国会議員団と力を合わせて国政での改悪にストップをかけるとともに、介護改悪を八幡市政に持ち込ませないためがんばります。

八幡市12月議会 日本共産党4人全員が質問

4日から開会

八幡市の12月議会が4日から22日まで開かれます。日本共産党市議団は4人全員が一般質問をします。午前10時から始まり、1日4人が質問。簡単な手続きで傍聴できます。インターネットでも視聴できます。(市ホームページから八幡市議会にアクセスしてください)

日本共産党の質問日程

(○内数字はその日の順番)

◎山本邦夫議員 6日④

「格差と貧困」問題への対策／介護保険の改善／原発問題、自然エネルギーの普及

◎中村正公議員 8日①

台風など風水害対策について／水道の漏水事故への対応について

◎亀田優子議員 8日②

少人数学級の実施／入札・契約制度／プラスチックごみの毎週回収

◎巖 博議員 12日②

国民健康保険料の値下げ、医療負担の軽減／市営浴場の維持管理